

樹木類

農薬取締法上、「はなもも」は樹木類に含まれる。

適用 病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数
うどんこ病	樹木類	トップジン M 水和剤 1	1,000倍	発病初期/5回 ※つつじ類、じんちょうげ、ぼけは散布液量が異なるので注意
		トリフミン水和剤 3	3,000倍	発病初期/5回
	樹木類	フルピカフロアブル 9	2,000倍	発病初期/5回
	樹木類 (除こでまり)	モレスタン水和剤 M10	2,000倍	発病初期/10回
	こでまり		2,000~3,000倍	発病初期/10回
枝枯細菌病	樹木類	ペンコゼブ水和剤 M3	600倍	新梢伸長期~発病初期/4回
くもの巣病	樹木類	バシタック水和剤 75 7	1,000倍	発病初期/3回
		リゾレックス水和剤 14	1,000倍	発病初期/5回
ごま色斑点病	樹木類	ベンレート水和剤 1	2,000倍	発病初期/—
切り口及び傷口のゆ合促進	樹木類	トップジン M ペースト 1	原液	塗布 せん定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後/5回
白絹病	樹木類	バシタック水和剤 75 7	1,000倍	土壌かん注 (3 L/m ²) 発病初期/3回
		リゾレックス水和剤 14	1,000倍	株元かん注 (3 L/m ²) 発病初期/5回
炭そ病	樹木類	トップジン M 水和剤 1	1,000~2,000倍	発病初期/5回 ※つつじ類、じんちょうげ、ぼけは散布液量が異なるので注意
		ベルコート水和剤 M7	1,000倍	発病初期/3回
		ペンコゼブ水和剤 M3	600倍	発病初期/4回
		ベンレート水和剤 1	2,000倍	発病初期/—
灰色かび病	樹木類	ゲッター水和剤 10 1	1,000倍	感染期~発生初期/5回
		フルピカフロアブル 9	2,000倍	発病初期/5回
斑点症 (シュードサー コスポラ菌)	樹木類	Zボルドー M1	800倍	発病初期/—
		ペンコゼブ水和剤 M3	600倍	発病初期/4回
輪紋葉枯病	樹木類	Zボルドー M1	500倍	発病初期/—

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

適用病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	発病初期／— 使用方法(記載無は散布) 使用時期／使用回数
		ベンレート水和剤 1	2,000倍	発病初期／—
アザミウマ類	樹木類	オルトラン水和剤 1 B	1,000倍	発生初期／5回
アブラムシ類	樹木類	アディオン乳剤 3 A	4,000～8,000倍	発生初期／6回
		スミチオン乳剤 1 B	1,000倍	—／6回
		マツグリーン液剤2 4 A	500倍	発生初期／5回
アメリカシロヒトリ	樹木類	スミチオン乳剤 1 B	500～1,000倍	—／6回
		ダイアジノン水和剤34 劇 1 B	1,000～1,500倍	発生初期／4回
		トアロー水和剤CT 1 1 A	1,000～2,000倍	発生初期／—
イラガ類	樹木類	トアロー水和剤CT 1 1 A	1,000倍	発生初期／—
エダシャク類	樹木類	スミパイン乳剤 1 B	1,000～1,500倍	若齢・中齢幼虫期／6回
オビカレハ	樹木類	トレボン乳剤 3 A	2,000倍	幼虫発生期／6回
カイガラムシ類	樹木類	アタックオイル UNM	100倍	—／—
		カルホス乳剤 劇 1 B	1,000倍	発生初期／6回
		マツグリーン液剤2 4 A	50倍	樹幹注入 春季～秋季／1回 ※処理液量はラベルの記載どおりに行うこと
			250倍	発生初期／5回
カミキリムシ類	樹木類	ベニカカミキリムシエアゾール 3 A		樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 —／6回
	樹木類	ロビンフッド 3 A		樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 —／6回
カミキリムシ類(除スギカミキリ)	樹木類(倒木、伐倒木)	スミパイン乳剤 1 B	50～150倍 300～600ml/m ² (樹皮表面積1m ² 当り)	伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期／6回
	樹木類			樹幹散布 成虫の発生初期または直前／6回
クイムシ類	樹木類(倒木、伐倒木)	スミパイン乳剤 1 B	50～150倍 300～600ml/m ² (樹皮表面積1m ² 当り)	伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期／6回
	樹木類			樹幹散布 成虫の発生初期または直前／6回

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

適用 病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数
ゲンバイムシ 類	樹木類	スミチオン乳剤 1 B	1,000倍	—/6回
	樹木類 (除まつ)	モスピラン顆粒水溶剤 劇 4 A	2,000倍	発生初期/5回
ケムシ類	樹木類	アクセルフロアブル 2 2 B	1,000~4,000倍	発生初期/6回
		アディオンの乳剤 3 A	4,000~8,000倍	発生初期/6回
		アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 4 A	2,000倍	発生初期/5回 ※つつじ類のみ散布量が異なるので注意
		エスマルク DF 1 1 A	2,000倍	発生初期/—
		カルホス乳剤 劇 1 B	1,000倍	発生初期/6回
		スピノエース顆粒水和剤 5	5,000倍	発生初期/2回
		ゼンターリ顆粒水和剤 1 1 A	1,000倍	発生初期/—
		ディプテレックス乳剤 劇 1 B	1,000~1,500倍	発生初期/6回
		トレボン乳剤 3 A	4,000倍	幼虫発生期/6回
		マツグリーン液剤 2 4 A	250倍	発生初期/5回
シャクトリム シ類	樹木類	アディオンの乳剤 3 A	4,000~8,000倍	発生初期/6回
		エスマルク DF 1 1 A	2,000倍	発生初期/—
		ディプテレックス乳剤 劇 1 B	1,000倍	発生初期/6回
		トレボン乳剤 3 A	4,000倍	幼虫発生期/6回
ゾウムシ類	樹木類	スミパイン乳剤 1 B	50~150倍 300~600ml/m ² (樹皮表面積1m ² 当り)	樹幹散布 成虫の発生初期または 直前/6回

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

適用 病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数
チャドクガ	つばき類	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 4 A	100倍 0.5~2L/樹 (但し220L/10a)	株元かん注 発生初期/2回
		オルトラン水和剤 1 B	1,500倍	発生初期/5回
		ジェイエース水溶剤 1 B	1,500倍	発生初期/5回
		トアロー水和剤 CT 1 1 A	1,000倍	発生初期/—
ドクガ類	樹木類	スミパイン乳剤 1 B	1,000~1,500倍	若齢・中齢幼虫期/6回
トビモンオオ エダシヤク	樹木類	バシレックス水和剤 1 1 A	500~1,000倍	発生初期/—
ネグサレセン チュウ	樹木類	アグリメック 劇 6	500倍	60分間根部浸漬 移植前/1回
ハダニ類	樹木類	バロックフロアブル 1 0 B	2,000倍	発生初期/1回
ハマキムシ類	樹木類	ディアナ SC 5	2,500~5,000倍	発生初期/2回
フラーバラゾ ウムシ	樹木類	スミチオン乳剤 1 B	1,000倍	—/6回
	樹木類 (除つばき類、 さくら、プラタ ナス)	トクチオン乳剤 1 B	1,000倍	発生初期/5回
	つばき類		1,000倍	発生初期/3回
	さくら、プラタ ナス		1,000倍	発生初期/4回
マイマイガ	樹木類	スミパイン乳剤 1 B	1,000~1,500倍	若齢・中齢幼虫期/6回
ミノガ類	樹木類	ディプテレックス乳剤 劇 1 B	1,000倍	発生初期/6回

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。